

令和7年度いじめ防止の取組①

全校集会では、「いじめ防止のアイデア」を募集しました。

各学部でいじめ防止の言葉を募り、スローガンを作成しました。

「いじめ防止スローガン」は、朝の会、帰りの会、LHRで確認しました。



令和7年度 いじめ防止スローガン（高等部）

- か かんがえよう 相手の気持ち かかわりを大切に
- も モヤモヤの気持ち 一人で悩まない
- い いじめや差別をしない させない
- な 仲間とともに助け合う 高等部

令和7年度 いじめ防止スローガン（中学部）

- か かなしいおもいは ともだちに させない 
- も もっと じぶんのきもちを じょうずに つたえよう
- い いやなことが あったら すぐそうだん 
- な なかよく たのしく ともだちを たいせつに 

令和7年度 いじめ防止スローガン（小学部）

- か かがやく かもいな 
- も もっと えがおで
- い いっしょに あそぼう 
- な なかよし さいこう！

小学部、中学部、高等部それぞれの実態に応じた「かもいな いじめ防止スローガン」ができました。

令和7年度いじめ防止の取組②

子どものサイン発見 チェックリスト

子どものサイン発見チェックリスト(家庭用)

年 組 ()

このチェックリストは、御家庭で子どもの小さなサインの発見に活用していただくために作成したものです。

以下の項目を参考に、お子さまの様子を観察してみてください。当てはまる項目があり、それが度重なるようでしたら、学校までこのチェックリストを御提出いただくか、御相談をお願いします。

項 目	チェック欄
1. 表情が暗くなり、言葉数が少なくなった。	
2. 学校のことをあまり話さなくなった。	
3. 朝から体の不調を訴え、登校をしがるようになった。	
4. 感情の起伏が激しくなり、親や兄弟姉妹に反抗したり、八つ当たりしたりするようになった。	
5. 下り席やあざ等を狙うようになった。(風呂に入ることや裸になることを嫌がる、自分でがをしたと言う。)	
6. 家族と過ごすことを避け、部屋に一人であることが多くなった。	
7. 友だちからの電話やメール等の連絡に、暗い表情が見られるようになった。	
8. 学用品や私物がなくなったり、壊れていたりすることが増えた。	
9. 教科書やノートに落書きをされたり、破られたりするようになった。	
10. 衣類が破れたり、汚れたりしていることが増えた。	
11. 以前に比べると食欲がなくなった。	
12. 最近、寝付きが悪かったり、夜中に何度も目を覚ましたりすることがある。	
13. 以前に比べると言葉遣いが乱暴になった。	
14. 家から品物やお金を持ち出し、金品を要求したりするようになった。	
15. 不審な電話や嫌がらせの手紙が来るようになった。	
16. 友だちからの電話やメール等の連絡で、急に外出することが増えた。	
17. 携帯電話やスマートフォン等のメールやライン等を頻りに気にするようになった。	
18. 何に対しても投げやりで集中力が続かないようになった。	
19. 「引越したい」「転校したい」と言うようになった。	
20. 友だちへの口調が命令口調になっている。	
21. 家で買いた物ではない物を持っている。	
22. 家で毎えた以上のお金を持っている。	

○上記以外で、お子さまの様子に気になることがありましたらお書きください。

※ この表は「いじめ対応の手引き」(平成19年3月発行)の「子どものサイン発見チェックリスト」に修正を加えて平成30年10月に作成したものです。

スクールサイン (高等部生徒)

あなたのまわりに悩んでいる仲間はいませんか?

「スクールサイン」とはスマホやパソコンからいつでも匿名で学校での困りごとやいじめの目撃情報などを学校へ連絡できるサイトです。

「いじめ匿名連絡サイト「スクールサイン」って?

「スクールサイン」の利用方法

step1
スマホやパソコンから下記の二次元コード読み取り(またはURLを入力)「スクールサイン」にアクセスします。

step2
専用のフォームから自分の名前をいっさいを載せずに心配な人のことや、自分の気持ちを投稿できます。

step3
投稿されたメッセージは、すべて専門業者が内容をチェックし、学校へ報告し対応します。

ひとりでも悩む仲間をひとりでも助けるために
勇気を出して投稿してみませんか?

「心のきずなを深める月間」 ポスター・標語作品

心のきずなを深めるポスター・標語作り



みんな友達 やさしい笑顔 友達の声
(中学部生徒)

「大丈夫？」そのやさしさに「ありがとう」
(高等部生徒)

子どものサイン発見チェックリストや相談窓口一覧の配布、スクールサインの登録等を行い、自分に合った方法でSOSが出せるようにしました。

朝の会、帰りの会で「いじめ防止スローガン」を確認し、「いじめを許さない学校、学級づくり」を目指しました。

児童生徒同士の心のきずなを深め、いじめのない学校・学級づくりに対する意識を高めることを目指した授業実践を全学部で行いました。

令和7年度いじめ防止の取組③

「いつもと違う」を見逃さない
児童生徒の様子の情報共有、事案の審議



いじめ防止対策委員会

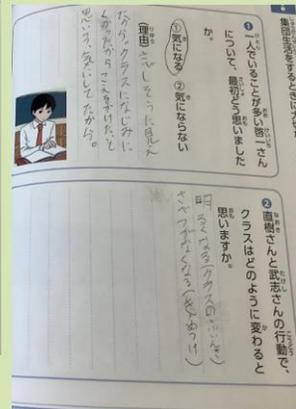
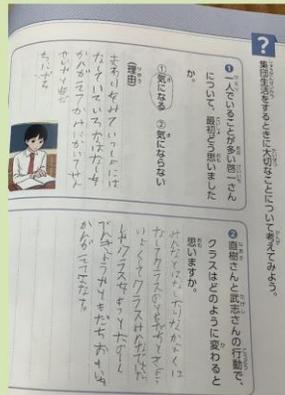
学期毎に1回ずつ、年3回実施
しました。
各学部の事案、取組について外部
専門家による助言を受けまし
た。

高等部

今年度から導入した、
道徳の教科書を使用

道徳

私たちの未来
未来の私たち



どんな人に対しても公平に
接する必要性を
理解してい
く学習



人権教育、特別の教科道徳の授業の共通理解

小学部

道徳「発見!ぼく、わたし」



好きなこと、得意なことを書いた葉っぱのカードは、「だいすき木」に掲示し、いつでも自分のこと、友達のことを見ることができるようにした。

自分の好きなことや得意なことを発表したり、友達と一緒に体験したりする活動を通して、自分の良いところやできることをたくさん見つけ、それを大切にしようとする学習。

中学部

学部全体で人権学習



他学年の仲間と一緒に学ぶ場を設けることでいろいろな考え方や友だちのよさに気付くことができた。昼休みに学年を超えた遊びの輪が広がった。互いに誘い合ってトランプをしたり、体育館で「けいどろ」を全員でしたり、みんなでよく遊ぶようになった。



自分を大切にする、ともだちを大切にする、いのちをたいせつにすることについて、身近な事例を挙げて全員で考え、発表しあう活動。